

## 地域カルテ（案）に関するご意見（まとめ）

## 京橋地域

## ◆地域サロンについて

- ・ 障害者や外国人向けのサロンはないのか。

## 日本橋地域

## ◆地域サロンについて

- ・ 外国人向けのサロンはないのか。

## ◆今後の方向性について

- ・ 旧住民が新住民と顔見知りになる機会を多く持てるようにして挨拶を交わせるように心がけるなど、地道なことをどれだけ丁寧に続けていけるかが、新旧住民の融合につながると思う。

## 月島地域

## ◆地域サロンについて

- ・ 障害者や外国人向けのサロンはないのか。

## 全地域

## ◆地域のデータについて

- ・ 細かなデータなどがよく拾えていると思う。
- ・ 孤立死数、ホームレス数、虐待通報件数、生活保護、生活困窮等もう少しニーズの状況が分かるとよい。
- ・ サロン（居場所）の数に加え、見守り活動の数、その他ボランティア数など住民活動の状況が分かる数字は拾えないか。
- ・ 生活支援分野、生活保護受給世帯数、高齢者等見守り活動団体数、認知症サポーター数、ささえあいサポーター数、ふれあい福祉委員会数、保育園と幼稚園の数（マップに乗せるのは無理でも施設の数と在籍園児の割合）を掲載した方がよいのではないか。

## ◆地域サロンについて

- ・ 地域サロンに偏りを感じる。居住者のニーズによるものとも考えられるが、あるエリアにあって他のエリアにないというのは違和感がある。

- ・幼児と高齢者のサロンはある程度あるが、中高生向けや、20代～40代の方が使えるサロン、外国人向けのサロンなどが全く掲載されていないのはなぜか。
- ・現在掲載されているものが行政管轄のもののみになっている。NPO などのサービス先を入れることが、中央区が目指している包括的支援体制を固めていくために必要なことだと考える。
- ・区民に必要なサービスや結びつき先が分野によってもっと分かりやすくなるとよい。体制図の「様々な課題を抱える区民」部分に高齢者、障害者、子ども、外国人とあるため少なくともこの分野のそれぞれの連携先がはっきり分かるとよい。

#### ◆マップについて

- ・「保健医療福祉に関する施設マップ」と「地域資源マップ」は一つにした方がよいのではないか。あわせて「社会資源マップ」とし、その中で、フォーマルな資源（公的機関）とインフォーマルな資源（住民参加型サロン等）を分けて表記することで、地域内のそれぞれの位置関係や偏りの有無等も可視化できると思う。技術的に可能であれば検討いただきたい。

#### ◆インタビュー・ヒアリング調査結果について

- ・インタビューとヒアリング調査が地域の全般的なものをあらわしていないので地域カルテに載せるべきものなのか疑問に思う。例えば、京橋地域の強みとして挙げられている内容は、京橋地域内のどこの地域もそうとは限らない。ヒアリングも同様である。相談支援機関や地域の活動者等がどの程度当事者の思いに心や耳を傾けているのかが伝わってこないのも、ある意味で一面的な気がする。

#### ◆今後の方向性について

- ・京橋、日本橋、月島それぞれの地域の特徴をいかすとよい。行事を行うときには協力し合う。すべて、何事も思いやりの心を大切に、相手のことも尊重しながら活動することが必要だと思う。